

## 引用文献等の記載方法例

本文中の「注」は、ワードの書式「脚注」に算用数字で記載してください。引用文献については、以下の記載方法例を参考にしてください。

### 1. 文中における引用文献の表記

#### 1) 短い引用の場合

文献から直接引用する場合には、引用部分を「 」でくくり、当該ページを示して原文に忠実に引用してください。（引用する文中に「 」が含まれている場合には、その「 」を『 』に置き換えてかまいません。）引用部分のカギ括弧に続いて、全角の丸括弧を用いて（著者の姓、出版年、引用ページ）を書きます。

本文中に著者名が書かれている場合や引き続き同じ文献から引用する場合には、引用ページだけにしてもかまいません。下に例示したように、必要な情報を簡潔に記入してください。

例：これについては、「……」（白畑，2021，p. 56）という見解が示されている。

例：白畑（2021，p. 56）が言う「……」という用語の使い方には、～

例：しかし、白畑（2020）の「……」とする指摘は～と同じである。（p. 56）

#### 2) 長い引用の場合

長い引用をする場合は、「 」を用いず、上下に一行空け、引用部分の左側を全角で1文字分の字下げ（インデント）をして、引用文の末尾に丸括弧で（著者の姓、出版年、引用ページ）の文献情報を記載する。（以下の例を参照）

吾輩は猫である。名前はまだ無い。どこで生れたかとうんと見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここではじめて人間というものを見た。（夏目，1906，p. 1）

#### 3) その他

① 引用文献の著者が2名の場合は中黒（・）で併記し、3名以上の場合には筆頭著者の姓に続いて「ほか」と記入する。例：（白畑・青山，1989，p. 38）

② 引用部分が複数にわたる場合は、「pp.」と「ハイフン」を用いて記す。例：（白畑，1889，pp. 38-39）

③ 同一著者に同一出版年の文献が複数ある場合は、出版年の後に a, b, … と小文字のアルファベットを付して区別する。例：（白畑，1892b，p. 38）

## 2. 引用・参考文献一覧における表記

引用・参考文献は、本文の最後にまとめて記載してください。欧文、和文（翻訳も含む）の順に区別して、欧文は著者の姓のアルファベット順に、和文は五十音順に記載します。各文献は、著者姓名、発行年、書名、出版社を、論文の場合は、著者姓名、発行年、論文題目、掲載誌名、巻号、掲載ページを記してください。

インターネット上の資料（電子ジャーナル、新聞・雑誌、ウェブサイトのテキスト等）の場合は、著者姓名、記事等のタイトル、雑誌・新聞名、巻号数、発行所、刊行年月日、掲載ページ、URL アドレス、最後にアクセスした年月日等のデータをできるだけ詳しく書いてください。

例：白畑邦彦（1998）『明治期の学校教育における管楽器教育』日本音楽社，p. 223

例：白畑邦彦（2012）「トランペット」『季刊 吹奏楽研究』関西出版，pp. 143-144

例：Taruskin, Richard (1995), *Text and Act: Essays on Music and Performance*, Oxford Univ Press, pp.156-157.

例：日本管楽芸術学会「生涯学習における管楽器教育の果たす役割と課題」，同学会ウェブサイト <http://www.jsawm.com/inyourei.html> （2021/07/14 にアクセス）